

- 問1 アメリカ合衆国の北アメリカ州における農業と輸送の関係について述べた次の文のうち、ミシシッピ川の役割を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 五大湖周辺で生産された農作物を、カナダを経由して北極海へ輸出するための唯一の水路となっている。 | 2. 西部の乾燥地帯で収穫された農作物を、メキシコ国内の市場へ直接届けるための運河として機能している。 | 3. 内陸部で生産された農作物を、運搬船(バージ)によって河口付近の港まで大量に運ぶルートとして利用されている。 | 4. 内陸部で生産された農作物を、大型トラックを用いて太平洋沿岸の港へ運ぶための主要な輸送経路となっている。 |
|--|---|--|--|
- 問2 北アメリカ州の工業地域のうち、デトロイトを中心とする五大湖周辺で自動車産業が高度に発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. シリコンバレーに近い立地を活かし、IT技術を駆使した電気自動車の開発が建国当初から盛んだったため。 | 2. サンベルトと呼ばれる新興工業地域に含まれ、温暖な気候と安価な労働力を求めて企業が集中したため。 | 3. 太平洋に面しており、日本などのアジア諸国から輸入した部品を加工・組み立てるのに便利な港湾機能を持っていたため。 | 4. 周辺で採掘される石炭や鉄鉱石などの鉱産資源を利用し、鋼鉄の製造から製品の組み立てまでを一貫して行いやすかったため。 |
|--|--|--|--|
- 問3 アメリカ合衆国の貿易収支は、長年にわたり巨額の貿易赤字が続いていることで知られています。この貿易収支の状況に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. ドル安政策を継続しているため、海外からの輸入価格が高騰し、輸入額が輸出額を上回っている。 | 2. 国内の農業保護を目的として、農産物の輸出を厳しく制限しているために輸入超過となっている。 | 3. 旺盛な個人消費を背景に、中国や日本などから自動車や電化製品などの工業製品を大量に輸入している。 | 4. シェールガスの開発が進んだことで、エネルギー資源の輸入額が輸出額を大幅に上回るようになった。 |
|---|---|--|---|
- 問4 リオデジャネイロオリンピックのメダル獲得数において、アメリカ、イギリス、中国、ドイツ、日本、フランス、ロシアといった国々の中で、合計獲得数が100個を超え最も多かった国について述べた次の文のうち、工業に関する説明として正しいものはどれですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 北緯37度より南の地域で、航空宇宙産業などの先端技術産業が急速に発達した。 | 2. 国内の北東部に位置する五大湖周辺において、現在も世界最大の鉄鋼業地帯を形成している。 | 3. 南部からメキシコ湾岸にかけて、古くからの繊維工業が現代の経済を支えている。 | 4. 西海岸のサンフランシスコ近郊において、自動車産業の組み立て工場が集中している。 |
|--|---|--|--|
- 問5 アメリカ合衆国の北緯37度付近、ロッキーマウンテンの東麓に位置し、標高が約1,600mに達する内陸部の都市として適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------|---------|-----------|
| 1. ニューヨーク | 2. シカゴ | 3. デンバー | 4. ヒューストン |
|-----------|--------|---------|-----------|
- 問6 アメリカ合衆国と中国における小麦やトウモロコシの生産量と輸出量を比較した統計において、アメリカ合衆国は生産量に対する輸出量の割合が中国よりも圧倒的に高いという特徴があります。このような、広い国土で機械を用いて大規模に生産を行い、自国での消費よりも世界市場への販売を主な目的とする農業を何と呼びますか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-------|---------|
| 1. 商業的農業 | 2. 自給的農業 | 3. 遊牧 | 4. 焼畑農業 |
|----------|----------|-------|---------|
- 問7 農業従事者の数が日本とほぼ同程度であるにもかかわらず、耕地面積が約1億5000万ヘクタール、穀物生産量が約4億7000万トンに達するアメリカ合衆国の農業において、効率的に生産を行うために取り入れられている手法はどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 家族中心の労働力により、一つ一つの作物を手作業で育てる集約的な農業 | 2. 都市近郊の限られた土地で行われ、出荷時期をずらした促成栽培 | 3. 家畜の飼育と穀物の栽培を交互に行い、土地の肥沃さを保つ伝統的な混合農業 | 4. 大型スプリンクラーによる灌漑など、広大な土地を少人数で管理する機械化 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問8 アメリカ合衆国では、降水量の少ない内陸部で小麦を、温暖な南部で綿花を、北東部の涼しい地域で酪農を行うなど、それぞれの地域の気候や土壌に最も適した農作物を栽培しています。このような自然環境に合わせた農業の形態を何と呼びますか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|--------|---------|
| 1. モノカルチャー | 2. 適地適作 | 3. 二毛作 | 4. 地産地消 |
|------------|---------|--------|---------|
- 問9 2013年の統計において、アメリカ合衆国の発電量は約4兆3062億kWh、二酸化炭素排出量は約51億2000万tに達しており、ロシア、インドネシア、ナイジェリアと比較して突出した数値となっています。この「発電量」と「二酸化炭素排出量」の関係から読み取れる、世界の環境問題の背景として最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 多くの電力を生み出すために石炭や天然ガスなどの化石燃料を大量に燃焼させることが、二酸化炭素排出量の増加に直結している。 | 2. 人口密度が高い国ほど生活消費電力が増えるため、広大な国土を持つアメリカ合衆国よりも、島国であるインドネシアの方が排出効率は悪くなる。 | 3. 経済発展の途上にある国々では、発電量に関わらず森林破壊のみが二酸化炭素排出量増加の決定的な要因となっている。 | 4. 二酸化炭素の排出量は石油の産出量にのみ比例するため、産油国であるナイジェリアなどの数値が将来的にアメリカ合衆国を上回る。 |
|--|---|---|---|
- 問10 世界の農産物統計において、州別の生産割合を見ると南アメリカ州が約67.0%、北アメリカ州が約14.9%を占めており、南北アメリカ大陸だけで世界全体の8割以上を生産している農作物があります。この農作物として最も適当なものはどれですか。 (2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|--------|-------|
| 1. 天然ゴム | 2. 大豆 | 3. カカオ | 4. 小麦 |
|---------|-------|--------|-------|
- 問11 北アメリカ自由貿易協定(USMCA)などを通じて経済的結びつきが強いアメリカ、カナダ、メキシコの3か国において、メキシコからアメリカへの移民流入が突出している背景として、適切な説明はどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. カナダの失業率が5~6%台で推移しており他の2か国より高いため、メキシコからの労働者が雇用を求めてカナダを避けてアメリカへ向かっている。 | 2. アメリカの賃金が1時間あたり約29ドルであるのに対し、メキシコは約2.7ドルと大きな賃金格差があるため、高い賃金を求めて人口が移動している。 | 3. メキシコの賃金水準が北アメリカの中で最も高く推移しているため、アメリカの企業が安価な労働力を求めてメキシコ人を雇い入れている。 | 4. アメリカの失業率が上昇し続けて労働力が不足しているため、メキシコ政府が国策としてアメリカへの労働移動を推奨している。 |
|---|---|--|---|
- 問12 2000年時点では日本やイギリスと比較して、発電電力量に占める石炭の割合が最も高かったアメリカ合衆国において、近年、環境への配慮や経済性の観点から石炭の割合が低下し、天然ガスの割合が急増しています。この背景にある、2000年代後半からアメリカ合衆国で本格化した、新しい資源の採掘技術によるエネルギー供給の変化を何と呼びますか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------------|---------|---------------|
| 1. 産業革命 | 2. シェールガス革命 | 3. 緑の革命 | 4. 情報技術(IT)革命 |
|---------|-------------|---------|---------------|